

Life design guide

さあ、未来をデザインしよう



山口県



はじめに

皆さんは、山口県で生活する中で、どのようなところに暮らしやすさを感じていますか。

また、高校を卒業後、どこでどのように生活したいと考えていますか。

私たちの将来にはたくさんの可能性があります。

人にはいろいろな考え方や生き方があり、仕事や暮らし方、パートナーとの関係も様々です。

自分らしい人生を歩むためには、どのように生きていくのか、あらかじめしっかりと考えておくことが大切です。

この教材は、皆さんが将来のことを考える上でヒントとなるよう、働くことや、結婚すること、子育てすることについてなど、将来のライフイベントに関する基本的な情報や本県の状況、特色ある取組などを紹介しています。

この教材を通じて、山口県の良さを再確認するとともに、自分の価値観に基づいて自分らしい生き方が実現できるよう、ライフプランをデザインしてみましょう。

本教材の位置付け

- 高校生の皆さんが進路を選択する際に、進学や就職のみならず、結婚、出産、子育て等のライフイベントも踏まえ、総合的に考えることを支援するための教材です。
- 本教材は、教科書の内容との重複をできるだけ避け、教科書に掲載のない情報として、本県の独自データや本県の特色ある取組などを主として掲載しています。



もくじ

- ① 働くことについて……………03～09
- ② 結婚・家族について……………10～12
- ③ 妊娠・出産について……………13～15
- ④ 子育てについて……………16～19
- ⑤ 少子化・高齢化について……………20～21
- ⑥ 自分のライフプランをデザイン……………22～23

2 農林水産業

山口県は海と山に囲まれた豊かな自然に恵まれ、古くから農林水産業に力を入れてきましたが、近年、担い手の高齢化・減少が進行しています。山口県では、次代を担う新規就業者を増やすため、「日本一の担い手支援策」を強化するとともに、若者に魅力ある産業になるよう、日々進歩するIoTやAI、ドローンなど先端技術の導入推進や、大学や民間企業等と連携した生産技術の開発・普及にも積極的に取り組んでいます。

山口県の農林水産業の特徴

農業

沿岸部から山間部まで変化に富んだ地勢からなる山口県では、自然条件や地域の特性を活かして、稲作を中心に野菜、果樹、花き、畜産など多様な農業が営まれています。



林業

森林が県土の7割を占める山口県では、戦後に植えられた人工林の約6割が木材として利用できる時期を迎えています。山口県産の木材は、古くは、奈良東大寺の再建に用いられるなど、その質の高さは古くから認められています。



水産業

三方が海に開けた山口県は、豊かな水産資源に恵まれ、沿岸から沖合まで様々な漁業が盛んに行われています。また、水産加工も盛んで、伝統的な焼拔製法で有名な蒲鉾などの練り製品は、全国でも上位の生産量を誇っています。



これからの農業

1 超省力・大規模生産を実現



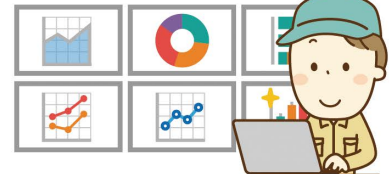
GPS 自動走行システム等の導入による農業機械の複数走行・自動走行等で、作業能力の限界を打破



スマート農業

ICT、ロボット技術を活用して、超省力・高品質生産を実現する新たな農業

2 作物の能力を最大限に発揮



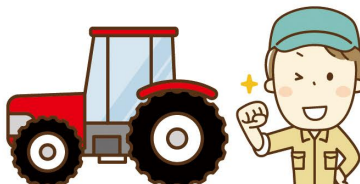
センシング技術や過去のデータに基づくきめ細やかな栽培により、作物のポテンシャルを最大限に引き出し多収・高品質を実現

3 きつい作業、危険な作業から解放



除草ロボットなどにより作業を自動化するほか、収穫物の積み下ろしなどの重労働をアシストスーツで軽労化

4 誰もが取り組みやすい農業を実現



農業機械のアシスト装置により経験の浅いオペレーターでも高精度の作業が可能となるほか、ノウハウをデータ化することで若者等が農業に続々とトライ

5 消費者・実需者に安心と信頼を提供

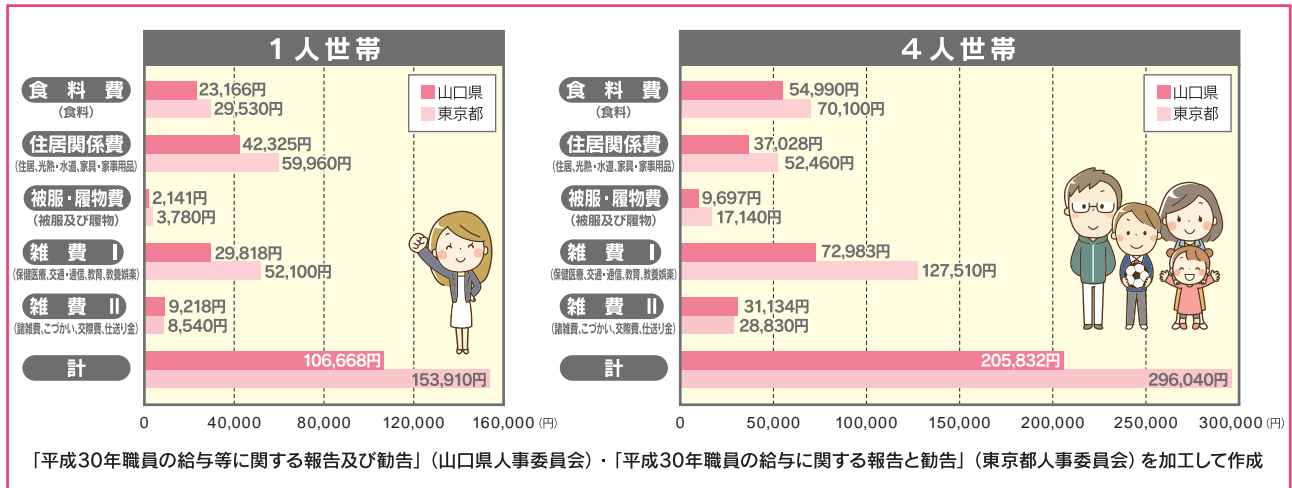


クラウドシステムにより、生産の詳しい情報を実需者や消費者にダイレクトにつなげ、安心と信頼を届ける

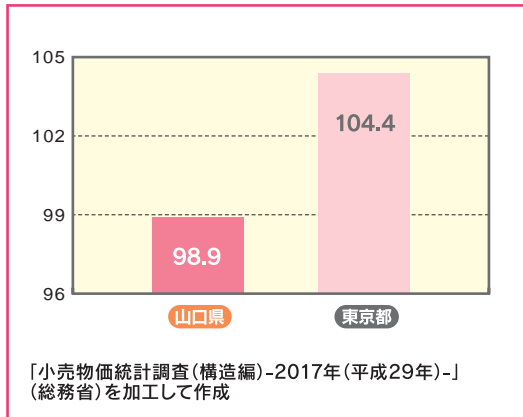
02 | 山口県での生活

山口県と東京都の生活を比較すると様々な違いがあり、それぞれにメリット、デメリットがあります。一般的には、東京都は山口県に比べ、現金給与額は高い傾向にあります。物価が高く、生計費も高くなる傾向にあります。また、山口県の方が、持ち家比率が高くなっているほか、人口当たりの小売店数や文化・スポーツ施設数なども充実しています。

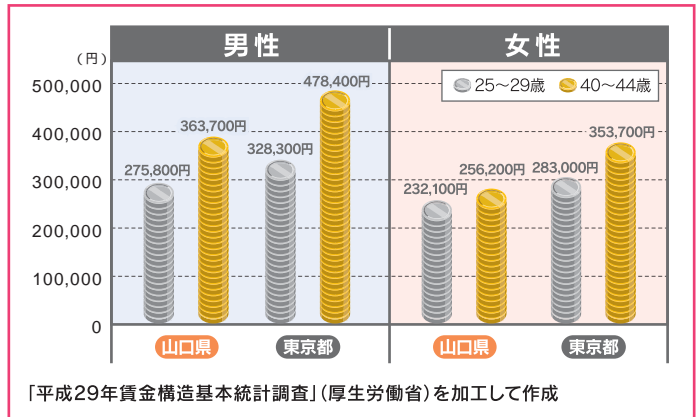
1 山口と東京の生計費の比較 (H30年4月)



2 山口と東京の物価の比較 (全国平均を100としたときの相対水準)



3 山口と東京の現金給与額の比較 (H29年6月)

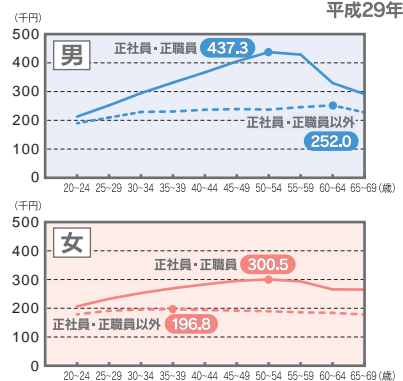


4 山口と東京の住環境の比較

	山口県	東京都	全国
○住居環境			
持ち家比率	67.3%	45.8%	61.7%
持ち家住宅の延べ面積(1住宅当たり)	129.4㎡	90.7㎡	122.3㎡
民営賃貸住宅の家賃(1か月3.3㎡当たり)	3,480円	8,620円	—
○小売店数(人口千人当たり)	9.56店	7.49店	8.01店
○文化・スポーツ施設数(人口100万人当たり)			
公民館数	159.5館	6.1館	111.5館
図書館数	38.4館	29.4館	26.2館
社会体育施設(体育館、水泳プール、運動場等のスポーツ施設)数	517.5施設	158.2施設	374.0施設
○医療施設数(人口10万人当たり)			
一般診療所数	90.5施設	95.8施設	79.5施設
一般病院数	8.5施設	4.4施設	5.8施設

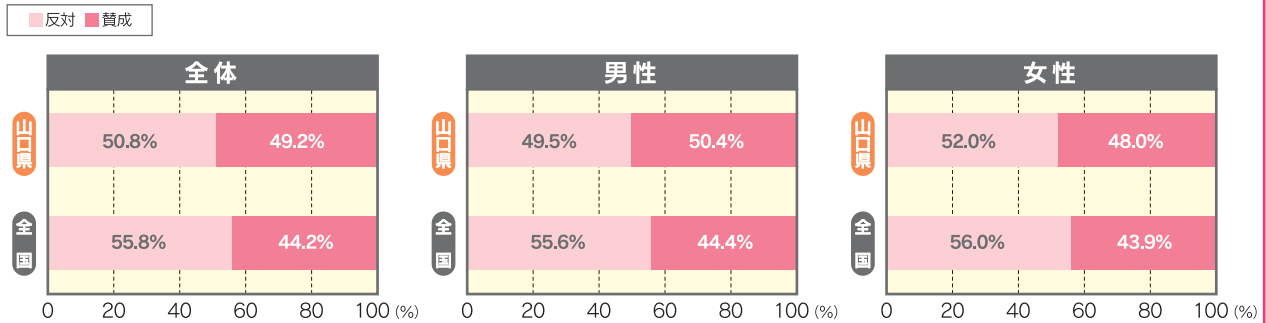
「社会生活統計指標-都道府県の指標-2018」(総務省)を加工して作成

【参考】雇用形態、性、年齢階級別賃金(全国) 平成29年



03 | 山口県における男女共同参画の状況

① 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に対する意識



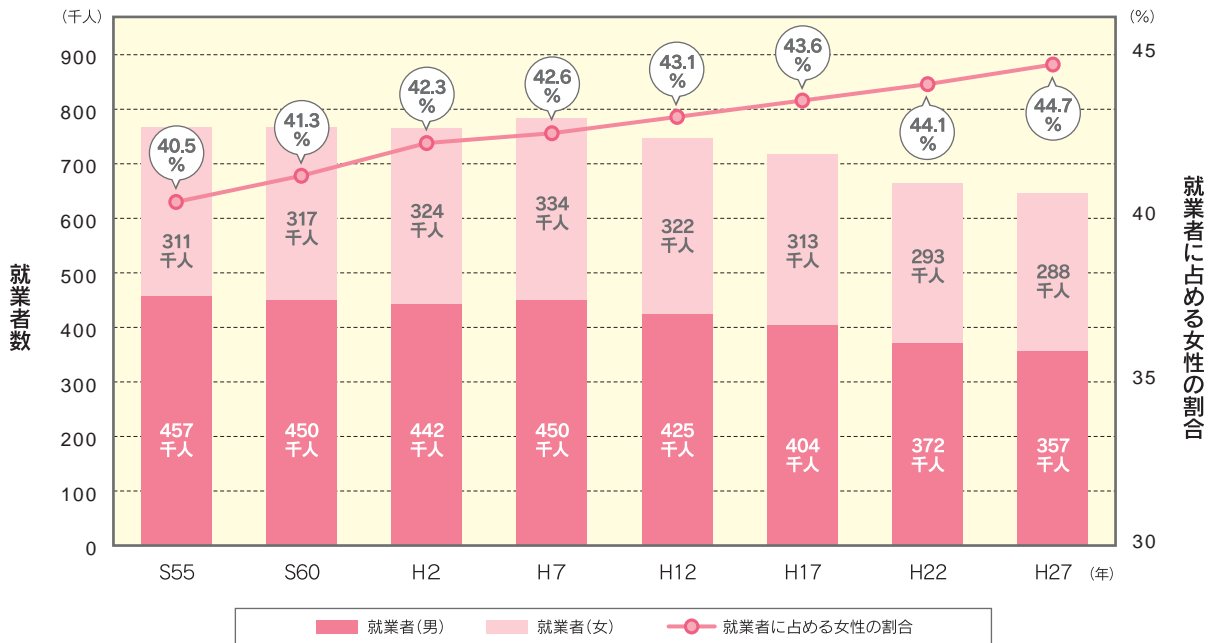
「地域における女性の活躍に関する意識調査」(平成27年)(内閣府)を加工して作成

全国の状況を見ると、全体で反対(55.8%)が賛成(44.2%)を上回っているものの、賛成の割合も半数近くにとのぼり、全国的に「固定的性別役割分担意識」(=「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方)は依然として強いことがわかります。

また、山口県の状況を見ると、賛成の割合は男女ともに全国より高くなっており、

山口県は「固定的性別役割分担意識」が全国より強い傾向にあることがわかります。

② 山口県における女性の就業者等の推移

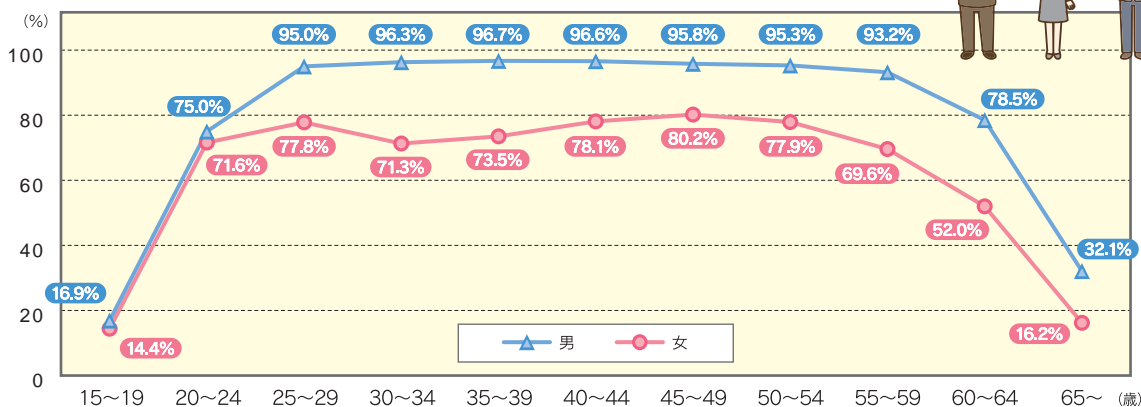
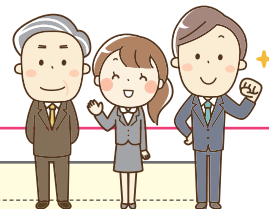


「国勢調査」(総務省)を加工して作成

山口県における男性の就業者数は減少している一方、女性の就業者数に大きな変動はないため、就業者数全体が減少傾向にある中で、**就業者に占める女性の割合は上昇**しています。



3 山口県における年齢階級別労働力率



〔平成27年国勢調査〕(総務省)を加工して作成

山口県の女性の年齢階級別の労働力率をみると、20歳代後半から低下し、30歳代前半を底に、その後の40歳代後半まで上昇し、全体としてM字カーブを示しており、**結婚、出産、育児等を契機に退職し、子どもの成長に合わせて、再び就業している**ことがうかがえます。

Key Word

労働力率

15歳以上の人口に占める労働力人口（就業者と完全失業者を足したもの）の割合。



04 | 山口県における男女共同参画を推進する取組

1 いまどき夫婦の家事シェアリング

(家事から始まる男女共同参画手帳)



新婚夫婦、新入社員等、主に若い世代に向け、家事に対する男女の意識相違や、育児開始前からの夫婦の家事分担の必要性等について、夫婦や職場内などで話し合える内容の手帳です。

【配付場所】

県内各市町において、婚姻届受理の際などに配付するほか、業界団体等を通じて、企業の若手社員にも配付

2 「やまぐち女性の活躍推進事業者」の取組

女性管理職の登用促進など、女性労働者に対する活躍の推進に関する取組を積極的に行うことを宣言する事業者を応援しています。



【事業者の取組例】

- 女性の採用割合を増やすための目標の設定
- 女性が少ない又は少ない部門・職種等への女性の積極的な配置
- 女性がより高度な知識・スキルを身につけるための研修の実施

3 山口県男女共同参画相談センター

性別による差別的取扱いをはじめ、夫婦や家庭の問題、配偶者や交際相手等からの暴力、ストーカー被害、性暴力被害に関することなど、県民の皆さんの様々な悩みごとの相談に応じています。



【連絡先】

◆ 山口県男女共同参画相談センター

[山口県婦人教育文化会館(カリエンテ山口)内]

☎083-901-1122

月～金 8:30～22:00 / 土、日 9:00～18:00

※祝日・年末年始は除く

◆ DVホットライン(緊急用)

☎0120-238122

月～金 8:30～22:00 / 土、日 9:00～18:00

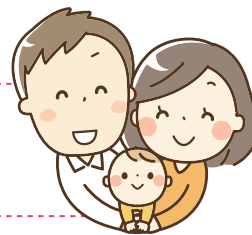
※祝日・年末年始は除く

◆ やまぐち性暴力相談ダイヤルあさがお

☎083-902-0889 (24時間365日対応)

05 | 山口県におけるワーク・ライフ・バランス推進の状況

育児休業制度(育児・介護休業法における制度)



育児休業制度とは、
会社員や公務員などに子どもが生まれたとき、1歳の誕生日を迎える前日までの1年間は、
育児に専念するため休業をすることができる制度です。

育児休業取得のパターン例

パターン1 出産直後や、職場復帰直後の特に大変な時期に育児休業を取得して、ママをサポート



配偶者の出産後8週間以内の期間内にパパが育児休業を取得した場合には、特別な事情がなくても、再度の取得が可能です！

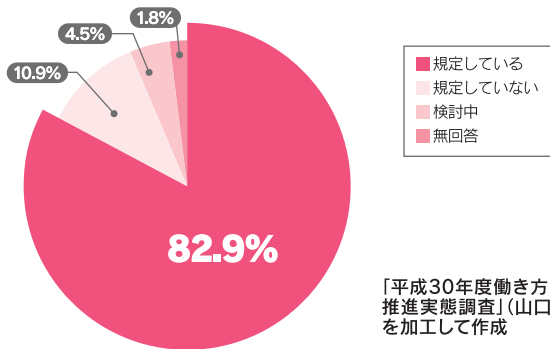
「パパの育児休業を応援します!!」(平成24年)(厚生労働省)を加工して作成

パターン2 パパとママと交代で育児休業を取得



ママだけでなく、パパも育児休業を取得する場合、休業取得可能期間が2ヶ月延びます！(パパ・ママ育休プラス)
(※)育児休業期間の上限は父の場合は、1年間、母の場合は、誕生日、産後休業期間と育児休業期間をあわせて1年間。

1 山口県における育児休業制度の就業規則等への規定状況

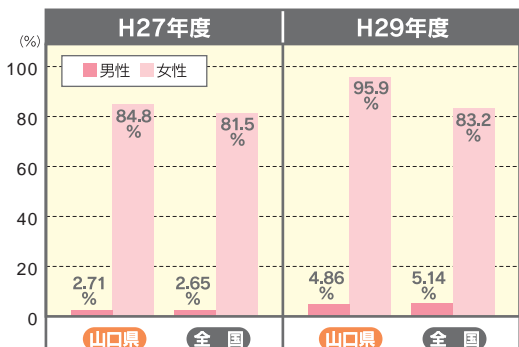


3 育児休業の取得期間

	女性		男性	
	H24年度	H27年度	H24年度	H27年度
5日未満	0.3	0.8	41.3	56.9
5日～2週間未満	0.9	0.3	19.4	17.8
2週間～1か月未満	1.6	0.6	14.8	8.4
1か月～3か月未満	4.8	2.2	17.9	12.1
3か月～6か月未満	6.9	7.8	2.2	1.6
6か月～8か月未満	8.2	10.2	1.4	0.2
8か月～10か月未満	13.7	12.7	0.4	0.7
10か月～12か月未満	33.8	31.1	2.1	0.1
12か月～18か月未満	22.4	27.6	0.3	2.0
18か月～24か月未満	4.9	4.0	0.2	0.0
24か月～36か月未満	1.6	2.0	-	-
36か月以上	0.7	0.6	-	-
不明	0.3	-	-	-

「平成27年度雇用均等基本調査」(厚生労働省)を加工して作成

2 育児休業の取得状況



「働き方改革推進実態調査」(山口県)・「雇用均等基本調査」(厚生労働省)を加工して作成

山口県においても全国同様、
男性の育児休業取得は進んでいません。
ワーク・ライフ・バランス推進を支援する取組が求められています。

06 | 山口県におけるワーク・ライフ・バランス推進を支援する取組

1 「やまぐち子育て応援企業」の取組

男女が安心して子どもを生み育てることができる雇用環境づくりに取り組む企業を奨励・支援し、その取組を広く紹介しています。



【事業者の取組例】

- 子どもが生まれた従業員が育児休業や短時間勤務など、育児のための制度を利用できるように仕事の分担を見直し
- 子どもを育てる従業員が子育てのためのサービスを利用するときに必要な費用を会社が援助

2 「やまぐちイクメン応援企業」の取組

男性従業員が育児参画しやすい雇用環境づくりに取り組む企業を奨励・支援し、その取組を広く紹介しています。



【事業者の取組例】

- 男性従業員が育児休業などを取得して育児に参加できるように仕事をサポート
- 男性従業員も参観日などの学校行事に参加しやすくなるように会社の制度を変更

3 「誰もが活躍できるやまぐちの企業」の取組

長時間労働の縮減や仕事と生活の両立支援に積極的に取り組み、若者、女性、高齢者、障害者など多様な人材が活躍できる職場環境づくりに成果を上げている優良企業を認定し、広く紹介しています。



【事業者の取組例】

- 働きやすい会社にするため、従業員からアイデアを聞き、分かりやすく取り組みやすい仕事の改善運動を実施
- 仕事に必要な資格取得のための費用を会社が負担するほか、資格の取得が給料に反映するようにして、従業員が資格を取得する意欲を高める取組を実施



認定企業で働く従業員の声

AIを活用した設備の導入により、これまで人の手で行っていた作業を機械に任せられるようになり、作業時間が大幅に短縮されました。時間外労働時間の削減により減ってしまう給料は、賃金規定の見直しによる所定内賃金増額のおかげでカバーされています。また、一人二役の多能工を目指す社内の取組により、「自分にしかできない」仕事が減り、周りの仲間がフォローしてくれるので休暇が取りやすい環境になりました。



※認定企業の情報は、山口県労働政策課のホームページで確認することができます。

4 イクメンパパ子育て応援奨励金

企業等における男性の育児休業取得を促進するため、男性従業員が育児休業を取得した場合に、企業に対して奨励金を支給しています。(最大 30 万円)



ワーク・ライフ・バランスを実現するための取組っていっぱいあるんだね！

5 やまぐち働き方改革支援センター

ワーク・ライフ・バランスの推進、長時間労働抑制、女性の活躍促進などの働き方改革に係る企業や従業員からの相談に対応しています。

【連絡先】

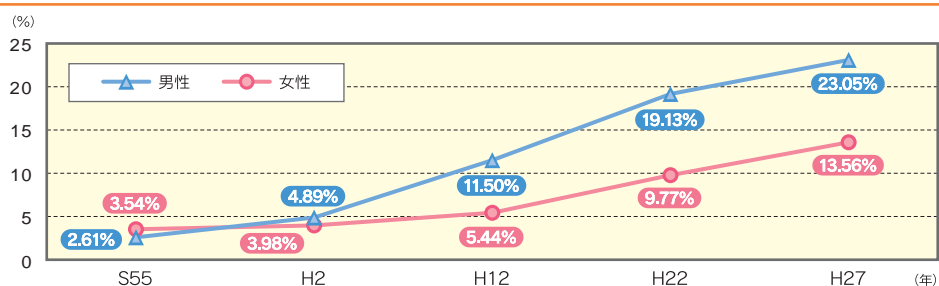
〒754-0014
山口市小郡高砂町1-20 [山口しごとセンター内]
☎083-974-2050
(月～金9:00～17:00 ※祝日・年末年始は除く)

就職するときには、これらの認定を受けている会社かどうかをチェックしてみよう！



01 | 山口県における結婚をめぐる状況

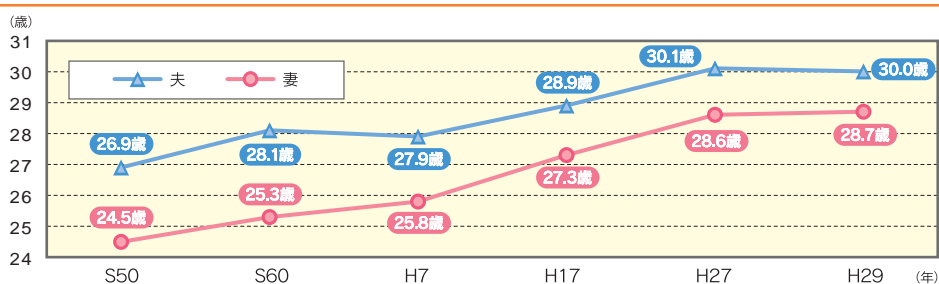
① 山口県における男女の生涯未婚率の推移



「人口統計資料集(2018)」(国立社会保障・人口問題研究所)を加工して作成

山口県においても、**生涯未婚率**(50歳時点で一度も結婚したことのない人の割合)は**上昇**しています。特に男性の上昇が著しいことがわかります。

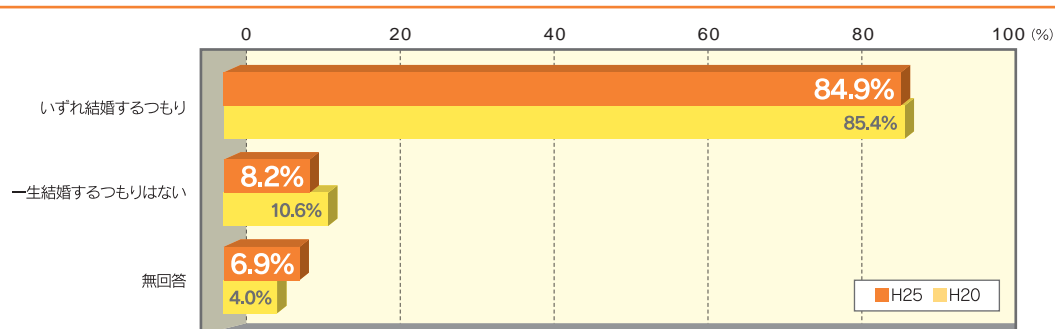
② 山口県における初婚年齢の推移



「人口動態統計」(厚生労働省)を加工して作成

H29年の山口県における初婚年齢をみると、S50年と比べて、夫は3.1歳、妻は4.2歳高くなっており、**初婚年齢**は緩やかですが**上昇傾向**にあり、**晩婚化が進行**していることがわかります。

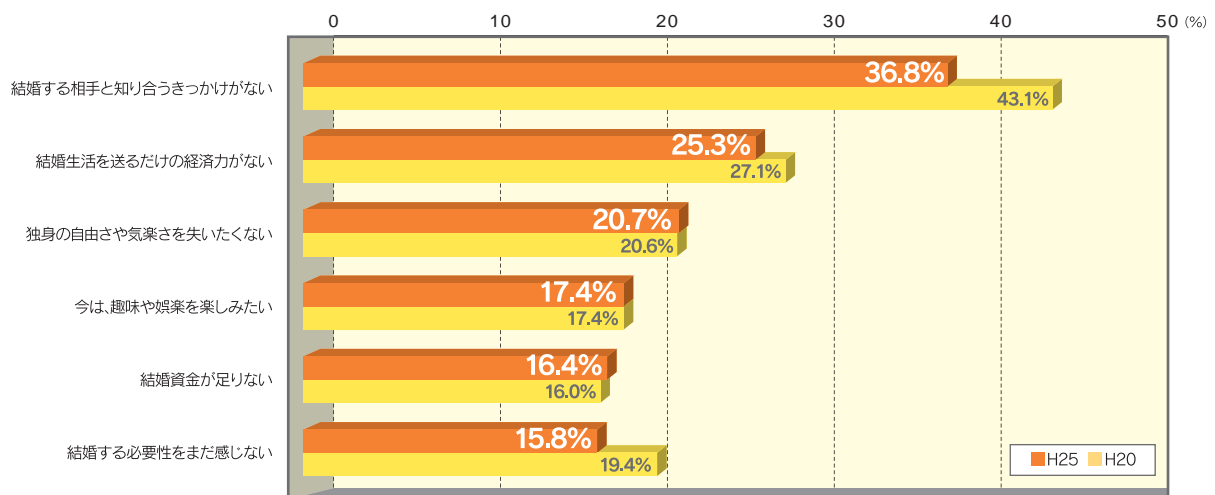
③ 山口県における未婚者の生涯の結婚意思



「子育て支援・少子化対策に関する県民意識調査」(山口県)を加工して作成

H25年の「**いずれ結婚するつもり**」と考える未婚者の割合は84.9%と**高い水準**になっています。

4 山口県における未婚者の独身の理由



「子育て支援・少子化対策に関する県民意識調査」(山口県)を加工して作成

H25年の独身の理由として、「知り合うきっかけがない」が36.8%と最も多く、
独身者の多くが **出会いの機会がない** ために、結婚の希望を実現できていないことがわかります。

02 | 山口県における結婚を支援する取組

1 やまぐち結婚応援センター

20歳以上の結婚を希望する独身男女に1対1の出会いの場を提供するため、県内4か所に窓口を設置し、会員登録、お相手検索、引き合わせから交際、成婚に至るまで結婚に向けた出会いや交際を支援しています。



【連絡先】

◆やまぐち結婚応援センター
(山口市神田町1-80 パルトピアやまぐち(防長青年館)3階)
☎083-976-8300

月、木、金12:00～19:00 / 土、日、祝10:00～17:00
※火、水、年末年始は休み

◆下関サポートセンター
(下関市豊前田町3丁目3-1 海峡メッセ下関3階)
☎083-222-8300

月、木、金12:00～19:00 / 土、日、祝10:00～17:00
※火、水、年末年始は休み

◆萩サポートセンター
(萩市江向531-1 萩健康福祉センター2階)
☎0838-26-8300

金10:00～17:00 ※月～木、土、日、祝、年末年始は休み

◆岩国サポートセンター
(岩国市三笠町1丁目1-1 岩国総合庁舎2階)
☎0827-22-8300

月、木、金12:00～19:00 / 土、日、祝10:00～17:00
※火、水、年末年始は休み

2 やまぐち結婚応援パスポート

新たに結婚する世帯等に対し、協賛事業所から料金割引などの優待サービスを受けられる「やまぐち結婚応援パスポート(ハピちよるパスポート)」を発行し、社会全体で結婚を応援する気運を高めるとともに、新婚夫婦等の経済的負担の軽減を図っています。



◆利用対象
1年以内に結婚予定の方・結婚1年以内の方
(県内居住者または県内居住予定者)

◆サービスの内容
協賛店舗で提示すると、割引やプレゼントなど、さまざまな特典サービスを受けられます。

◆協賛店舗
結婚式場、貸衣装、理美容、ホテル・旅館、金融、不動産、引越、旅行、家具、家電など

◆サービス例
料金の割引・無料、
記念品のプレゼント、
ポイントの付与、
金利の優遇

協賛店舗に提示すると、
特典が受けられます。

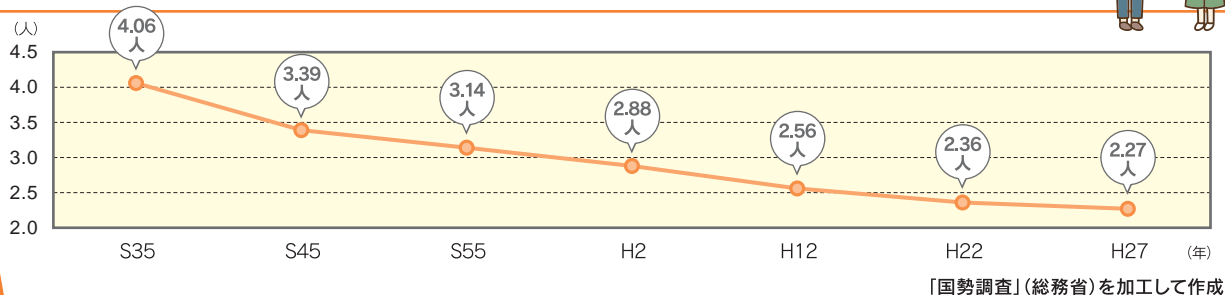


03 | 山口県における家族をめぐる状況

家庭は、家族がお互いに助け合い、支え合いながら生活するための基盤であり、子どもを生み育て、教育することなど、様々な機能を有しています。



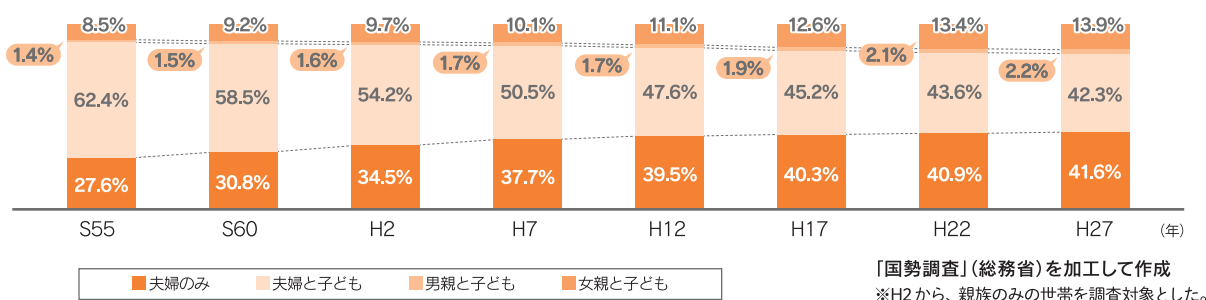
① 山口県における1世帯当たりの平均人員の推移



山口県における **1世帯当たりの平均人員は減少** を続けています。



② 山口県における核家族に占める各世帯の割合



山口県における核家族の状況は、夫婦のみの世帯及び男親と子どもの世帯、女親と子どもの世帯の割合が増加し、夫婦と子どもの世帯の割合が減少しており、**家族構成に変化**が見られます。

04 | 多様なライフスタイル

パートナーとの関係については、結婚して家族になるという形以外のスタイルをとる人も増えてきています。自分の価値観に合わせて、自分のライフスタイルを選択することが大切です。価値観が多様化する中、結婚や子どもを持つことは人生の選択肢の一つであり、その選択は個人の自由な意思決定に基づくものでなければなりません。「結婚は必ずした方がよい」などといった特定の価値観を個人に押し付けたり、個人の決定にプレッシャーを与えたりすることがあってはなりません。

【参考】多様性

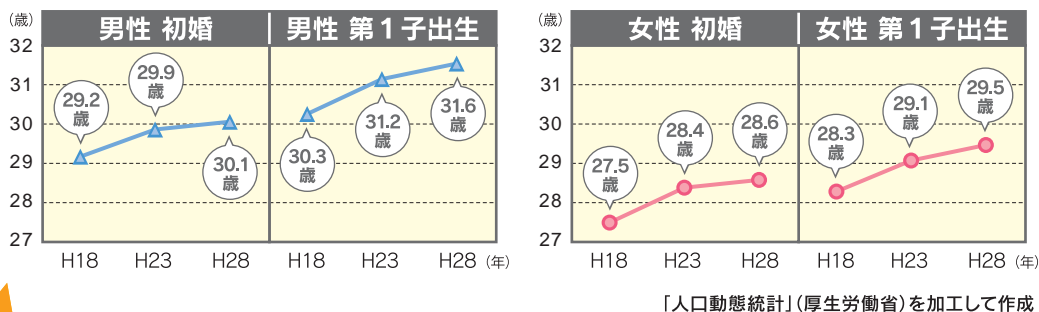
私たちの性には、からだの性(生物学的な性)、こころの性(性自認)、好きになる相手の性(性的指向)という3つの側面があります。性的指向及び性自認に関して、いわゆるLGBTなどと呼ばれることがあります。それらは、一般的に次のことを指しています。

- L: 女性の同性愛者 (Lesbian: レズビアン)
- G: 男性の同性愛者 (Gay: ゲイ)
- B: 両性愛者 (Bisexual: バイセクシャル)
- T: こころの性とからだの性との不一致 (Transgender: トランスジェンダー)

性的指向に関して、「男性が男性を、女性が女性を好きになる」ことに対しては、根強い偏見や差別があり、苦しんでいる人々があります。また、からだの性とこころの性との食い違いに悩みながら、周囲の心ない好奇の目にさらされるなどして苦しんでいる人々があります。こうした性的指向や性自認を理由とする偏見や差別をなくし、理解を深めることが必要です。

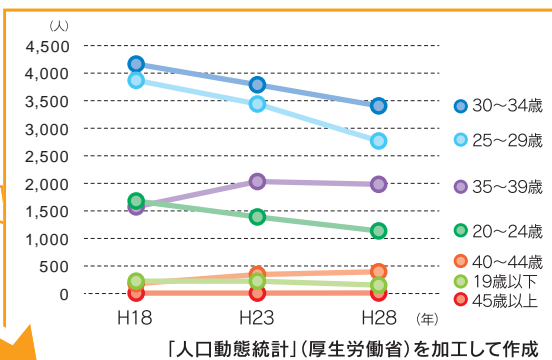
01 | 山口県における妊娠・出産をめぐる状況

1 山口県における男女別平均初婚年齢及び第1子出生にみた父・母の平均年齢



男女とも平均初婚年齢、第1子出生の平均年齢は上昇傾向にあり、**晩婚化、晩産化が進行**していることがわかります。

2 山口県における母の年齢別出生数



	H18年	H23年	H28年
19歳以下	224人(1.9%)	223人(2.0%)	152人(1.5%)
20~24歳	1,679人(14.4%)	1,389人(12.4%)	1,135人(11.5%)
25~29歳	3,868人(33.1%)	3,439人(30.6%)	2,768人(28.1%)
30~34歳	4,164人(35.6%)	3,788人(33.8%)	3,405人(34.6%)
35~39歳	1,572人(13.4%)	2,032人(18.1%)	1,981人(20.1%)
40~44歳	178人(1.5%)	344人(3.1%)	394人(4.0%)
45歳以上	7人(0.1%)	7人(0.1%)	9人(0.1%)
総数	11,692人	11,222人	9,844人

29歳以下の出生数構成割合は減少傾向にある一方、35歳以上は上昇傾向にあり、**晩産化が進行**していることがわかります。

02 | 男性、女性の心と体の変化

思春期は、心と体の変化が大きいため、異性との交際や友人関係、容姿、勉強などの悩みを抱えやすい時期です。特に、性のことや異性への関心が高まるので、身の回りにある様々な性情報が正しいか判断して適切な行動を選択したり、男性と女性の心と体の違いを知り、お互いを対等な人間として思いやる気持ちが大切です。

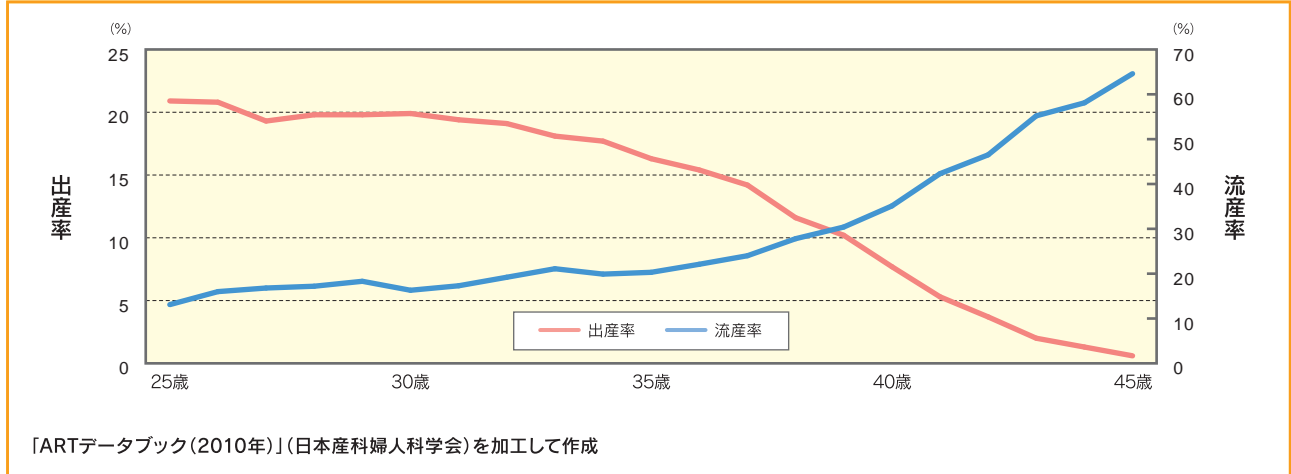
「知っていますか？男性のからだのこと、女性のからだのこと～健康で充実した人生のための基礎知識～」(平成24年厚生労働科学研究費補助金(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業))を加工して作成

	初潮	妊娠・出産	閉経
女性	卵巣から女性ホルモンが出て、乳房がふくらみ、月経が始まります。性への関心が強くなります。	月経も安定してきます。妊娠・出産を考えるのに最適な時期です。仕事と家庭のバランスを考える時期です。	卵巣の卵子が少なくなり、閉経を迎えます。女性ホルモンの分泌がほとんど無くなり、更年期症状や骨粗鬆症、動脈硬化症などの病気も出やすくなります。
	10	30	50
	思春期	成熟期	更年期
男性	男性ホルモンにより骨・筋肉が発達し、変声し、恥毛・ひげなどが生えます。精通もあり、性への関心が強くなります。	パートナーとともに、妊娠・出産や仕事と家庭のバランスを考える時期です。	男性ホルモンが低下し、疲労感や気力低下、筋力の衰え、性欲低下を感じることもあります。
	10	30	50
	精通	精子の数・活動性もよい	やる気や体力の変化

03 | 妊娠・出産に適した年齢

「いつでも子どもは持てる」と思いがちですが、妊娠・出産には適した年齢があります。医学的には、35歳を過ぎると卵巣機能が低下し、不妊の原因となる子宮筋腫などの病気の合併や全身疾患などにより、妊娠率の低下、流産率の増加などが指摘されており、不妊治療を受けても妊娠しにくくなることが分かっています。

1 不妊治療における年齢別の出産率と流産率



2 卵子、精子の加齢による影響

卵子

女性の卵子は出生後新たにつくられることはありません。また、卵子は、加齢とともに質・量ともに低下するため、自然に妊娠する力は35歳頃から下がりはじめるといわれています。

精子

男性の精子は思春期以降1日に数億個作られ、日々新しい精子が生まれます。精子の数や質は加齢による影響は受けるものの個人差が大きく、喫煙や生活習慣病などの存在により悪化し、妊娠率も低下するといわれています。

3 不妊の原因

女性

- ・排卵や卵管の問題
- ・子宮内膜症などの病気
- ・クラミジアなどの性感染症 など

男性

- ・精子を造る機能や性功能の問題
- ・前立腺炎などの病気 など

04 | 予期しない妊娠を防ぐ

若くして親となることは、体力の面において充実しており、祖父母も比較的に若いため支援が期待できるなど、一概に「悪い」とは言えないかも知れませんが、10代、すなわち自分自身が未成年である「子ども」の時期に親となった場合は、学業の断念や労働市場での非正規化など、さまざまな不利が発生することが予想されます。

特に、計画性のない妊娠・出産は、出産後の養育に影響します。例えば、ひとり親世帯の貧困率は50%を超えるなど、深刻な経済問題に直面するリスクが高くなっています。

予期しない妊娠をした場合、妊娠22週未満(最終月経開始日から21週と6日まで)であれば人工妊娠中絶の手術を受けられますが、この手術は金銭的な負担だけでなく、女性にとって身体的負担も大きく、精神的にも大きな傷を残すことが少なくありません。また、不妊症の原因になることもあります。

男女ともに思いやりを持ち、責任ある行動をとることが大切なんだね！



05 | 健康管理について

将来の妊娠、子育てだけでなく、健やかな生活を営むためには、体と心づくりは大切です。普段から自分自身の健康管理を心がけましょう。



食生活

食べることは生きるための基本です。肥満ややせは将来的な健康に影響し、特に急激なやせ(不健康なやせ)は、骨量の減少や不妊を引き起こすことがありますので、栄養バランスや量などを考慮した食生活が大切です。

睡眠

睡眠不足は疲労感をもたらしたり、情緒を不安定にし、適切な判断を鈍らせるなど生活の質に大きく影響します。寝る直前までスマホ画面を見続けると寝つきが悪くなったり、睡眠障害になったりする可能性があるため注意が必要です。

運動

体力・筋力の維持・向上や肥満・生活習慣病の予防、ストレス解消などのため、日頃から意識して体を動かしたり、習慣的な運動を心がけましょう。

喫煙

たばこの煙には200～300種類以上の有害物質が含まれており、喫煙は肺がんや心疾患など様々な病気の原因になることがわかっています。また、喫煙は、低体重児や流産などを引き起こす危険性が指摘されていますので注意が必要です。

性感染症予防

性感染症は、自覚症状が現れにくいので気付かないうちに病気が進行するなど、不妊や子宮外妊娠、流産につながることもあります。この病気は、男女を問わず誰もがかかる可能性を持っているので、「自分には関係ない」と思わず、気になったら検査や相談をしましょう。感染予防のためには正しい知識と安全な予防方法が大切です。

飲酒

飲み過ぎなどの不適切な飲酒は、心身の健康問題だけでなく、交通事故など社会的問題のリスクを高めます。また、妊娠中の飲酒は、アルコールが胎盤を通ってしまうため、胎児は影響を強く受け、流産や低体重児、神経障害などを引き起こす危険性が指摘されていますので注意が必要です。

06 | 山口県における妊娠・出産を支援する取組

1 思春期ほっとダイヤル

〔山口県立総合医療センター内〕

男女を問わず、思春期のからだの相談をお受けします。
(例) 月経に関すること、性感染症、性やからだの悩みなど

相談方法	相談日時(祝日・年末年始は除く)	対応者
電話・Eメール	毎日9:30～16:00	保健師または助産師

☎0835-24-1140

☒女性のなやみ相談室のメールフォームから

2 女性のなやみ相談室

〔山口県立総合医療センター内〕

◆女性健康支援センター

女性の健康に関することなら、なんでも相談をお受けします。

(例) 予期しない妊娠など妊娠の悩み、性感染症、性生活、子育ての不安、デートDVなど

◆不妊専門相談センター

不妊に関する専門相談をお受けします。

(例) 不妊や不育症についての悩み、不妊の検査・治療など

相談方法	相談日時(祝日・年末年始は除く)	対応者
電話・Eメール	毎日9:30～16:00	保健師または助産師
面接(要予約)	第1・3曜日14:00～16:00	臨床心理士
	随時14:00～16:00	産婦人科医師

☎0835-22-8803

☒女性のなやみ相談室のメールフォームから

3 不妊治療費の助成

不妊治療を受けている夫婦の経済的な負担を軽減するため、一般不妊治療、人工授精、体外受精、顕微授精、男性不妊治療について、治療費の一部を助成しています。

タイミング法 薬物療法 検査、手術	人工授精	体外受精 顕微授精	男性 採精手術
3万円/年度		初回 30万円	初回 30万円
		2回目 15万円	2回目 15万円

※所得や年齢などの要件があります。

詳しくは、山口県子ども政策課にお問い合わせください。

4 妊娠・出産・子育てについての相談支援窓口

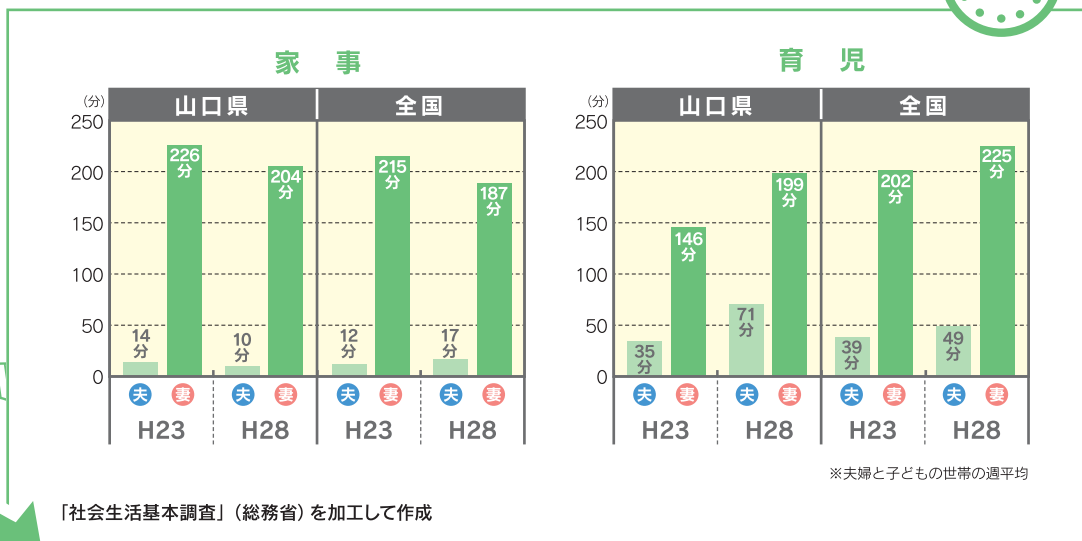
◆子育て世代包括支援センター

各市町に、妊娠期から子育て期にわたるまでの様々なニーズに対して、総合的相談支援を提供するワンストップ拠点として設置されています。

妊娠届から妊婦健康診査、母親学級や赤ちゃん訪問などを通して、保健師や助産師による専門的な相談支援が受けられます。「妊娠・出産・子育て」を安心して迎えるための気軽な相談窓口として利用できます。



01 | 山口県における子育てをめぐる状況

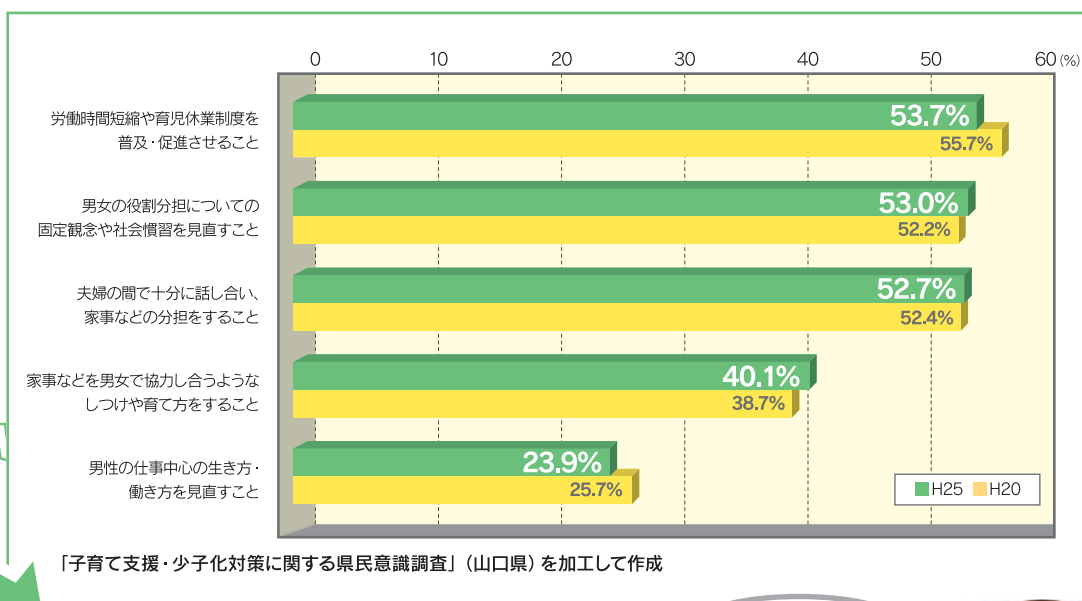
① 6歳未満の子どもを持つ
夫と妻の1日当たりの家事・育児時間

全国、山口県ともに **妻の家事・育児時間は夫に比べて大幅に長く**なっています。

特に、家事については男女差が大きいのが現状です。

育児時間については、山口県は全国に比べて妻は短く、夫は長くなっています。

全国、山口県ともに
男性の参画が
進んでいないんだね……

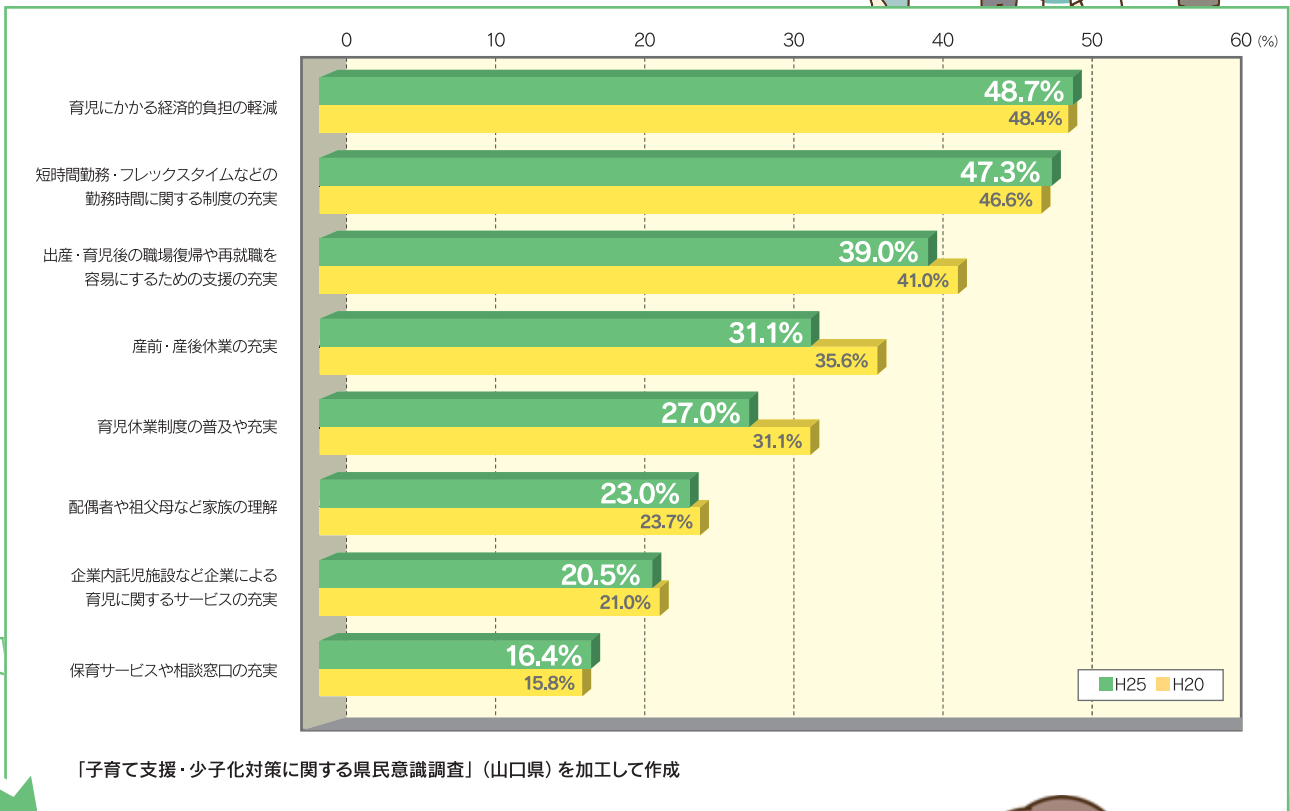
② 男女がともに子育てに
積極的に参加していくために必要なこと

「労働時間の短縮や育児休業制度の普及・促進」、
「男女の役割分担についての固定観念等の見直し」の
割合が高くなっています。

「働き方改革」などの
ワーク・ライフ・バランス
推進の取組や、固定的な
性別役割分担意識の変革が
求められているんだね!



3 出産・育児と職業生活を両立しやすくするために必要なこと



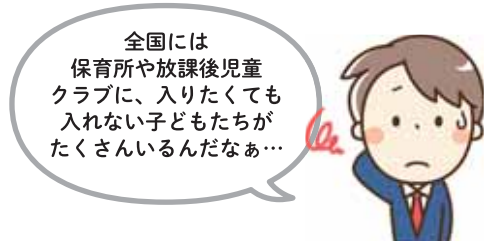
出産・育児と職業生活を両立するためには、**ワーク・ライフ・バランス推進**の取組である「勤務時間に関する制度の充実」や、「育児にかかる経済的負担の軽減」が求められていることがうかがえます。



4 待機児童数

	全国	山口県
保育所等	19,895人	36人
放課後児童クラブ	17,279人	430人

※調査時点 保育所等：H30.4.1、放課後児童クラブ：H30.5.1
 「平成30年度保育所等利用待機児童数調査」(厚生労働省)
 「平成30年度放課後児童健全育成事業実施状況調査」(厚生労働省)を加工して作成



Key Word

働き方改革

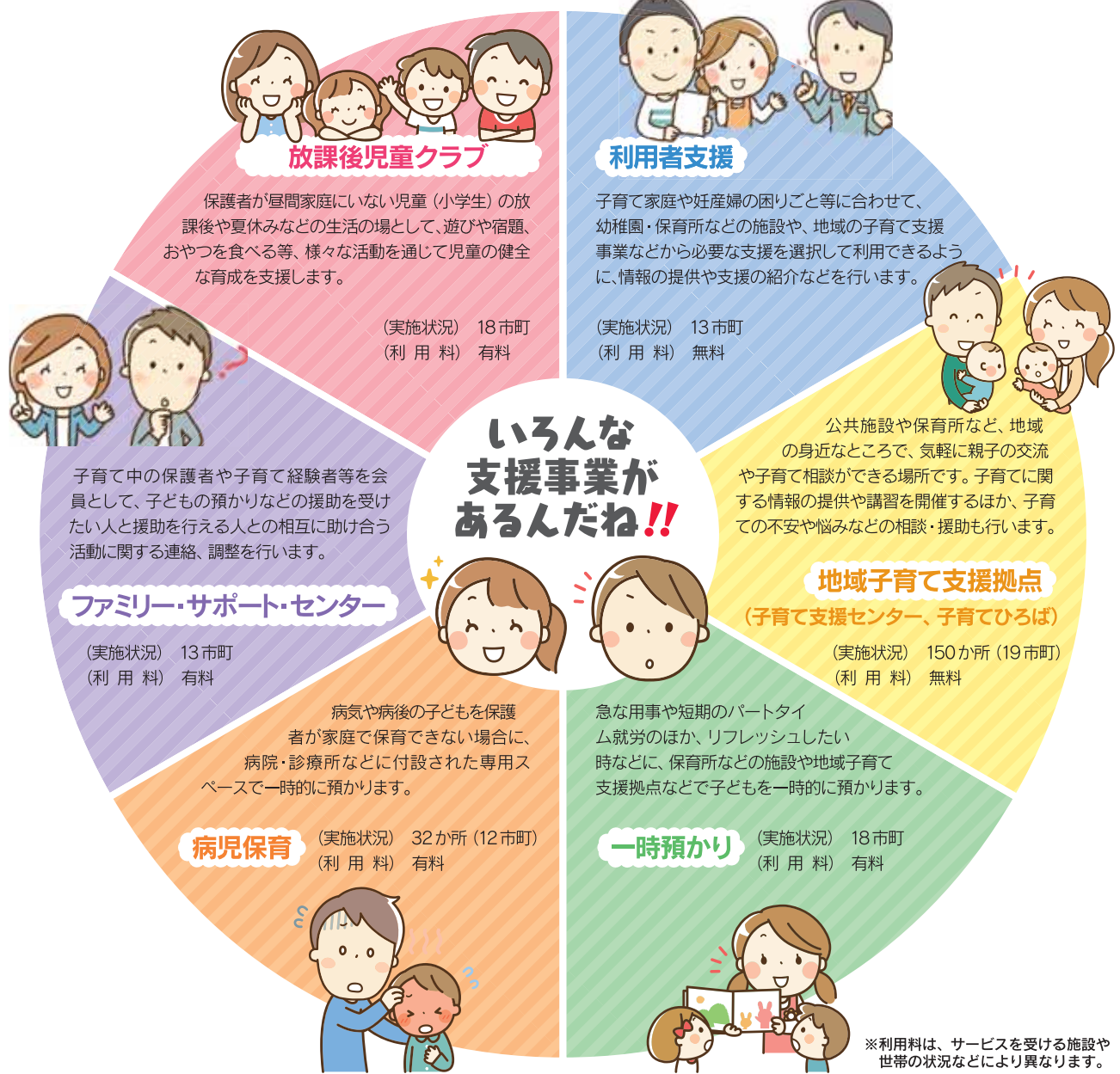
働く人が、個々の事情に応じた多様な働き方を自分で「選択」できるようにするための改革。「労働時間法制の見直し」、「雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保」等があります。

ワーク・ライフ・バランス




働く人が「仕事」と、育児や介護、趣味や学習、休養、地域活動といった「仕事以外の生活」との調和をとり、その両方を充実させる働き方・生き方のこと。

02 | 子育てを支える制度

① 地域における子育て支援事業



② 保護者の状況や子どもの年齢に応じた支援

保護者の状況	子どもの年齢		
	0～2歳	3～5歳	小学生
 <p>家庭以外での保育が必要! 仕事や介護などで子どもをみられない日が多い</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所 ・認定こども園 ・地域型保育 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所 ・認定こども園 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブ など
 <p>家庭での保育が可能! 家にいて子どもと一緒に過ごす日が多い</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一時預かり ・地域子育て支援拠点 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園 ・認定こども園 ・一時預かり ・地域子育て支援拠点 など 	
 <p>すべての子育て家庭が対象</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者支援 ・病児保育 ・ファミリー・サポート・センター など 		

※対象児童は、サービスを受ける施設により異なります。

03 | 山口県における子育てを支援する取組

1 やまぐちイクメン維新

育児を積極的に行う男性＝「イクメン」を応援し、男性の積極的な家事・育児参画を促進する取組を行っています。

【お父さんの育児手帳】

- 男性の育児参画を応援する各種制度などを紹介
- 県内各市町において母子健康手帳と併せて配付



2 やまぐち子育て応援パスポート

満18歳未満の子どもや妊娠中の方がいる家庭に対し、料金割引などの優待サービスを受けられる「やまぐち子育て応援パスポート」を発行し、社会全体で子育てを応援する気運を高めるとともに、子育て家庭等の経済的負担の軽減を図っています。

◆ **利用対象**
満18歳未満の子どもや妊娠中の方がいる家庭

◆ **協賛店舗**
山口県内約2,000か所のほか全国にも多数

◆ **サービス例**
料金の割引・無料、ポイント加算、クーポン券・サービス券提供、金利優遇、商品・景品提供、子育てにやさしい設備・対応

(多子世帯向け)プレミアムパスポートもあります! 満18歳未満の子どもが3人以上いる世帯等



3 学校内子育てひろば

中学校や高等学校内に、定期的に乳幼児親子が集う「子育てひろば」の開設を支援し、未来を担う若い世代が、家庭や子どもを持つことの楽しさや素晴らしさを身近に感じることが出来る機会を創出しています。

大津緑洋高等学校の取組例

家庭科の授業で乳幼児とのふれあい体験を行っています。乳幼児の親から出産や育児などの話を直接聞くことで、子育ての大変さや喜びなどを学んでいます。



4 結婚・子育て応援デスク

若い世代が希望を叶え、安心して結婚し、妊娠・出産、子育てができるように支援するため、結婚から妊娠・出産、子育てに至るまでの総合的な相談窓口を開設しています。

☎ 083-933-4080 (月～金 9:00～16:00 ※祝日・年末年始は除く)

やまぐちのイクメンを紹介

長門市・矢野孝明さん

長女、長男の誕生にともない、3年3か月の育児休業を取得。高等学校の社会科教諭である矢野さんは、自らが「生きた教材」として育児休業を経験しながら、子どもの成長に寄り添っています。

育児は「家族」で担うものだと思っています。男女ともに働く権利があります。女性にとって出産や育児が負担となり、キャリア形成を断念したり、やりたいことができないという環境は改善されるべきだと思います。そのためには、男性の育児参画が「あたりまえ」になり、男性の育児休業取得がごく普通の選択肢として普及することを期待しています。



矢野さんの主な一日

- AM 7:00**
起床。朝食、着替え。
(起きたらすぐにおむつ替え)
- AM 8:30**
ママ出勤、見送り。
子どもは教育テレビを楽しむ。
(この間にできる限りの家事を済ませる)
- AM 9:30**
子育て支援センターへ。
(同世代のお友達と遊ぶ)
- PM 0:00**
帰宅、昼食。
(ママが昼休みに帰宅して準備してくれる)
- PM 1:00**
ママ再び出勤、見送り。
- PM 1:30**
別の子育て支援センターへ。
(この日はリトミック)
- PM 3:30**
帰宅後、おやつ、庭遊び、散歩、教育テレビなどを楽しむ。
- PM 5:00**
ママ帰宅、買い物へ。
- PM 6:30**
夕食。
- PM 7:30**
入浴。
(パパが2人の子どもを入れ、ママがキャッチ)
- PM 8:30**
寝かしつけ、ママ就寝。
(ここからはパパの自由時間)
- AM 0:00**
パパ就寝。

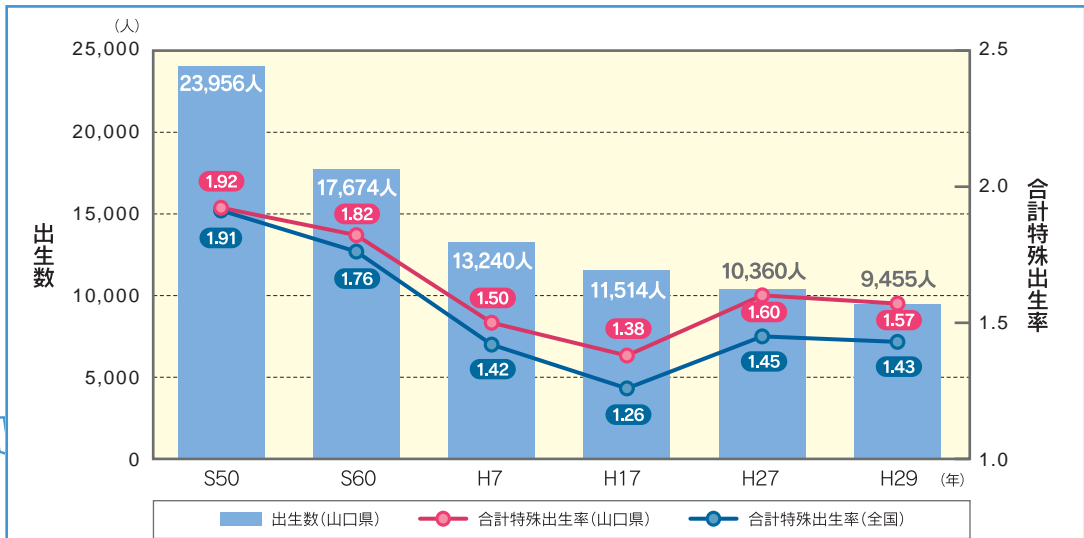
子育てって
いろんなことを
するんだね!
すごいなあ



子育てについて

01 | 山口県における少子化の現状

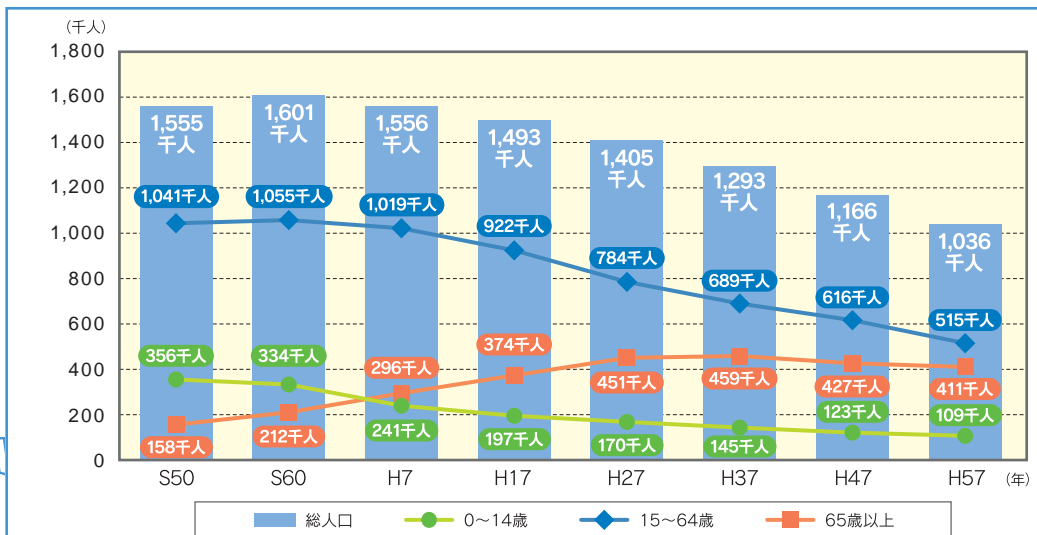
① 出生数と合計特殊出生率の推移



「人口動態統計」(厚生労働省)を加工して作成

山口県における **出生数は年々減少** を続け、現在は、S50年と比較して半分以下となっています。また、1人の女性が一生に生む子どもの数を示す合計特殊出生率は、人口を維持するために必要とされる水準(日本では2.07~2.08)を大きく下回っており、**少子化が進行** している状況にあります。

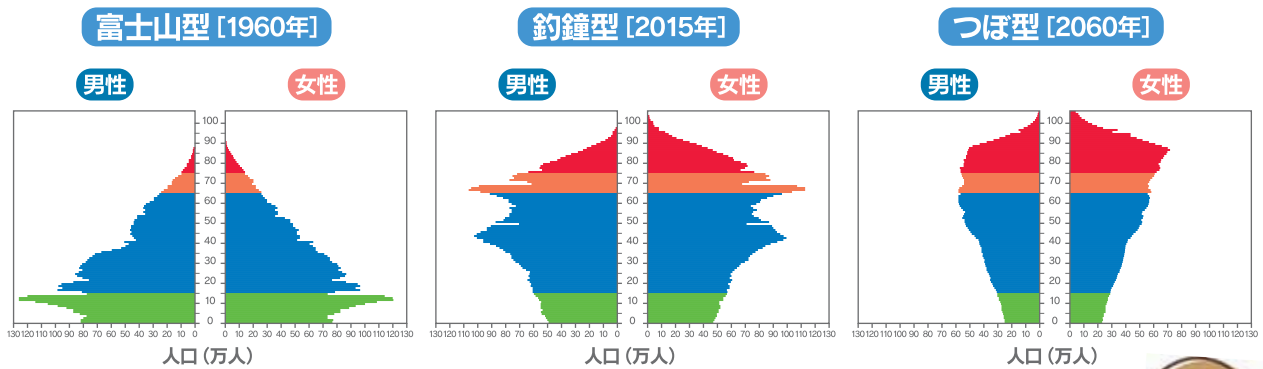
② 山口県における人口推移と将来推計



「日本の都道府県別将来推計人口」(平成30年3月推計)(国立社会保障・人口問題研究所)を加工して作成
※H27は「国勢調査」(総務省)を加工して作成

出生数の減少傾向が続いているため、**年少人口(15歳未満)は減少し続けており**、H27年においては、17万人と **老年人口(65歳以上) 45万1千人の半数以下** となっています。国立社会保障・人口問題研究所の将来推計によると、H57年の山口県の年少人口は10万9千人となり、老年人口41万1千人のおよそ **4分の1にまで減少** すると推計されています。

02 | 人口構造の変化



「日本の将来推計人口(出生中位推計)」(平成29年推計)(国立社会保障・人口問題研究所)を加工して作成

日本の人口の年齢構造をみると、年少人口(15歳未満)の減少と老年人口(65歳以上)の増加が著しく、**少子高齢化が急速に進んでいる**ことがわかります。

人口構造の変化について、いわゆる人口ピラミッドの変遷をみると、1960年には、「富士山型」であったものが、高齢化の進行により、現在では「釣鐘型」となっています。さらに少子化が進めば、将来的には「つぼ型」に変わっていくといわれています。

03 | 少子化が地域や社会に与える影響

地域への影響

- 高齢化や過疎化が進行し、地域の活力低下が懸念されます。
- 住民に対する基礎的なサービスの低下につながる可能性があるほか、将来的には地域そのものを維持していくことが難しくなることも懸念されます。

経済への影響

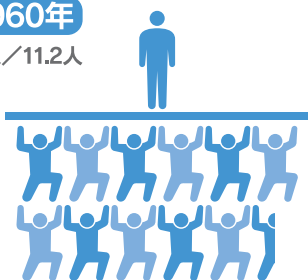
- 生産年齢人口(15歳以上65歳未満)の割合が減少し、経済成長の停滞や低下が懸念されます。
- 働く人が減少すると、たくさんの高齢者を少ない若者で支えなければならない社会になるため、若い世代を中心に社会保障の負担が増加することが懸念されます。

少子化が進行し人口減少が進むと、過疎化による地域活力の低下、労働力不足による経済成長の停滞、若い世代を中心とした社会保障の負担増加など、**社会の仕組みに深刻な影響を与える**ことが懸念されます。

自分の生まれ育ったところが元気がなくなるのは寂しいなあ…

04 | 1人の高齢世代を支える現役世代の比率

1960年
1人/11.2人



2015年
1人/2.3人



2060年
1人/1.3人



私たちの負担が年々重くなってるね…



「平成28年版高齢社会白書」(内閣府)を加工して作成

6

自分のライフプランをデザイン

自分の身近な大人にこれまでのライフイベントを聞き、それを参考にしながら自分のライフプランをデザインしてみましょう。

デザインにあたっては、「仕事」と「家庭」との調和を図り、その両方を充実させる働き方、生き方ができるように考えてみましょう。



		10代	20代	30代
身近な大人に聞いてみよう ()さん	学 校 仕 事			
	家 庭 家 族			
自分のライフプランをデザインしよう	学 校			
	仕 事			
	家 庭 家 族			
	趣 味 スキルアップ			

記入例

		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以降
自分のライフプランをデザインしよう	学校 仕事	19歳 県外の 大学に進学 (経営学専攻)	23歳 県内の会社就職 (メーカー)	35歳 係長	45歳 課長	52歳 部長	60歳 退職	
	家庭 家族	19歳 親元を 離れる 	26歳 結婚  28歳 第1子誕生 	31歳 第2子誕生  	40歳 マイホーム購入 	56歳 第1子結婚 58歳 孫が誕生	60歳 第2子結婚 61歳 孫が誕生	
	趣味 スポーツ	19歳 部活に入る (ラクロス部) 	20歳 免許取得 25歳 資格取得 (簿記)	38歳 スポーツジムに通う 	42歳 中国語を習う 	55歳 家族で海外旅行 (アジア) 	62歳 夫婦で 海外旅行 (ヨーロッパ)	

40代	50代	60代	70代以降

お問い合わせ先

山口県 健康福祉部
こども・子育て応援局 こども政策課

〒753-8501 山口県山口市滝町1番1号（県庁5階）

TEL 083-933-2740(代表)

FAX 083-933-2759

E-mail a13300@pref.yamaguchi.lg.jp

_____年 _____組 名前 _____

平成31年3月

